

# 計画策定における市民意見について

## 1 パブリックコメントの実施について

横浜市では、市政に関わる様々な計画等の制定の過程において、市民の方々の理解と信頼を深め、政策決定におけるプロセスに関する情報を積極的に提供する方策として、横浜市パブリックコメント実施要綱により、パブリックコメント手続を行っています。

「横浜市情報化の基本方針」についても、横浜市パブリックコメント実施要綱の第4条第1項第1号の別表に「市の長期計画その他の重要な基本計画、指針等」として記載されているとともに、横浜市の今後の長期的な方向性を定めるものであるため、まず「横浜市情報化の基本方針(素案)」をまとめ、その素案についてパブリックコメントを実施しました。

ここでは、パブリックコメントの実施状況及びその結果、また、いただいたご意見により素案を変更した点などについて説明しています。

### 1 概要

平成22年9月27日(月)に公表した計画素案の内容についてパブリックコメント(市民意見募集)を行いました。実施の概要は次のとおりです。

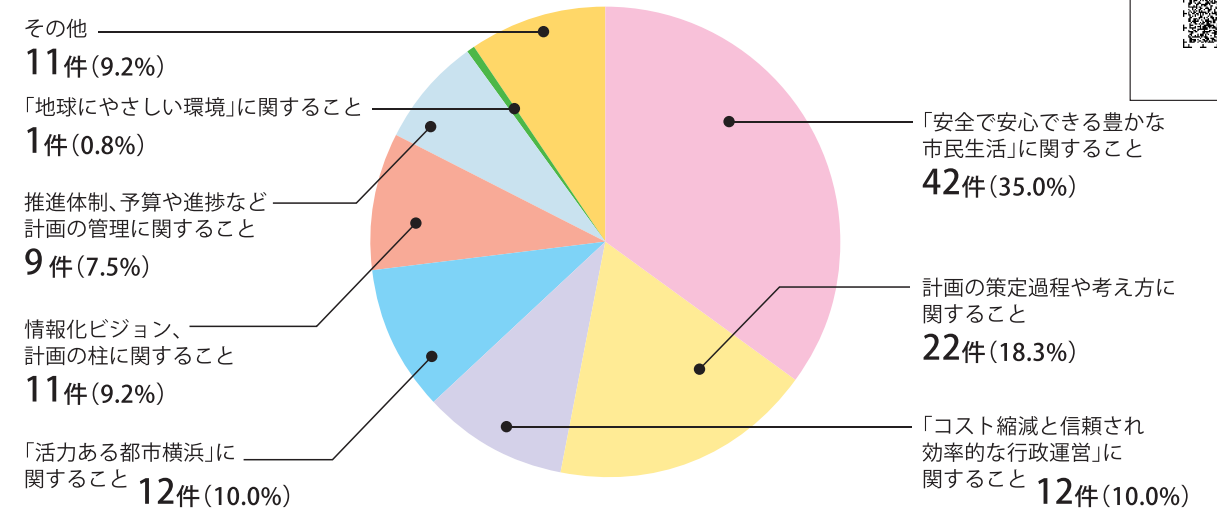
**実施期間:** 平成22年9月28日(火)～10月29日(金)  
**作成物:** 冊子版、概要版(リーフレット、点字版、音声版、拡大文字版)  
**周知方法:** 冊子版、概要版の配布及び関連団体への送付。Web上での周知。  
**配布場所:** 市民情報センター、各区役所、各区図書館

### 2 実施結果

「横浜市情報化の基本方針」(素案)について、34人の方から120件のご意見をいただきました。ご意見をいただいた方の内訳は次のとおりでした。

居住地別内訳		提出方法別内訳	
市内	24人	郵便	4通
市外	3人	FAX	1通
不明	7人	持参	4通
		E-mail	25通

いただいた120件のご意見を分類した結果、「安全で安心できる豊かな市民生活」に関することが42件(35.0%)で最も多く、次いで計画の策定過程や考え方に関することが22件(18.3%)、「コスト削減と信頼され効率的な行政運営」に関することがそれぞれ12件(10.0%)、情報化ビジョン、計画の柱に関することが11件(9.2%)、推進体制、予算や進捗など計画の管理に関することが9件(7.5%)、「地球にやさしい環境」に関することが1件(0.8%)、その他が11件(9.2%)でした。

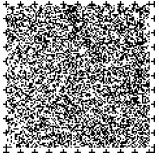


いただいたご意見に対し、14件について素案を変更して最終的な計画に反映するほか、次のような対応をさせていただきました。

対応	対応の説明	意見数	割合
修正	意見を反映し、素案に何らかの修正を行うもの	14	11.7%
賛同	すでに計画に盛り込まれているものや、計画に賛同するもの	22	18.3%
参考	素案の修正には及ばないが、個別の取組などにおいて今後の参考にさせていただくもの	82	68.3%
対象外	素案に対する意見とはいえないもの	2	1.7%
合計		120	100%

## 2 素案の主な修正内容

- 計画の内容について、より細かな記述を追加することとしました。
  - 最終的な計画には、実行施策の必要経費の4年間の総額を掲載することとしました。
  - 4年間すべて「企画・検討」となっている施策について、表現を工夫するとともに、いつまでに検討の結論を出すかを可能な限り記載することとしました。
- 市民の参画、市民の相互活動の視点を追加することとしました。
  - 障害者の参画など利用者視点でのシステム構築について、個別目標に記述を追加することとしました。
  - 市民相互の活動の支援、市民とのパートナーシップによる事業展開の視点について、個別目標に記述を追加することとしました。
- より効率的な行政運営、魅力あるデータの提供について記述を追加することとしました。
  - システム化の際に、「場合によってはとりやめることを含めて検討する」と、個別目標に表現を追加することとしました。
  - 魅力あるデータの提供について、個別目標に記述を追加することとしました。



修正箇所一覧

ページ	修正箇所	修正前	修正後
64・66 70・71 ページ	「ICTガバナンス*強化の検討」 「基幹情報システム*への最新 技術活用検討」「グループウェア*の統合」「水道局庶務事務 システムの導入」の取組内容	—	修正箇所に示した4つの実行施策につ いては、所管部署に確認し、可能な限り 検討の結論を出す予定について記入
48ページ	59の実行施策の説明文	「これらは、平成22～25年 度の今後4年間で実際に取 り組んでいく施策であり、 計画策定時の取組の具体的 な内容や…」	「これらは、平成22～25年度の今後4 年間で実際に取り組んでいく施策であり、 <b>4年間の総経費は約200億円を見込んでいます。また、</b> 計画策定時の取組の 具体的な内容や…」と事業費を掲載。
37ページ	個別目標3「市民のICT*活 用能力向上及び情報格差 の最小化」の説明文	—	末尾に、「 <b>また、障害者に使いやすいシ ステム作りを行う際の障害者の参画な ど、利用者視点でのシステム作りを心 かけます。</b> 」と文章を追加。
37ページ	個別目標3「市民のICT*活 用能力向上及び情報格差 の最小化」の説明文	「ICT*に関連した教育を充実 することにより、誰でも必 要な情報収集をいつでも不 便なく行える能力を身につ けられるよう支援します。」	「ICT*に関連した教育を充実すること により、誰でも必要な情報収集をいつ でも不便なく行える能力を身につけら れるよう <b>市民同士の活動を含めて</b> 支援 します。」
41ページ	個別目標1「積極的なパート ナーシップや国費などの財 源の確保の推進」の説明文	「民間やNPOとのパート ナーシップによる事業展開 も積極的に進めます。」	「民間やNPO、 <b>市民等</b> とのパートナ ーシップによる事業展開も積極的に進め ます。」
8ページ	(2)横浜市のICT*関連状況	(2)横浜市のICT*関連状況	(2)横浜市役所のICT*関連状況
65ページ	「情報共有基盤システムの 整備・運用」の取組内容	「情報システムの最適化を 推進します。」	「情報システムの最適化を推進します。 <b>また、システム運用後にはシステム導 入効果について検証を実施します。</b> 」
35ページ	情報化ビジョンの説明文	「アイデアを出し合って状 況に対処していくことが必 要です。」	「アイデアを出し合って状況に対処して いくこと、 <b>また、そのために失敗を許容し、 失敗を生かして次へつなげていける環境 をつくりだしていくことが重要です。</b> 」
39ページ	個別目標3「庁内の情報共 有の推進と業務改善を伴 う全体最適化の推進」の説 明文	「業務のシステム化を検討す る際には、必ず業務改善を行っ たうえでシステム化を実施する とともに、全庁的な視点で最適 なシステムを構築します。」	「業務のシステム化の検討時には、 <b>取り やめることを含めて検討を行い、実施す る場合には、必ず業務改善を行って、全 庁的な視点で最適なシステムを構築し ます。</b> 」
37ページ	個別目標2「市のまちづく り等のデータの活用、提供 の促進」	個別目標2「市のまちづくり等 のデータの活用、提供の促進」 「市が所有するまちづくりや課 題解決等のために必要なデー タを提供し、自由に活用できる ようにし」	個別目標2「市のまちづくり等の <b>魅力あ る</b> データの活用、提供の促進」 「市が所有するまちづくりや課題解決等 のために必要 <b>かつ魅力あるデータを提 供、自由に活用できるようにするととも に、魅力あるコンテンツの充実を図り、</b> 」
62ページ	「市民のICT*活用支援」の 取組内容	「市民のICT*活用相談に対 応する職員のサポートなど、市民がICT*活用する際 の支援を行います。」	「市民のICT*活用相談に対応する職員の サポートなど、 <b>市民の参画や市民相互の 活動を含めて、</b> 市民がICT*活用する際の 支援を行います。」
77ページ	「ICT*協働の仕組みづく り」の取組内容	「NPO、企業等民間と市役所 が協働して」	「 <b>教育機関や研究機関、市民、</b> NPO、企業 等民間、市役所が協働して」
61ページ	「ソーシャルメディア*等 への対応」の取組内容	「ソーシャルメディア*など の活用や対応について検討 します」	「ソーシャルメディア*などの活用や対 応、 <b>ガイドラインの作成</b> について検討し ます」
77ページ	「ICT*協働の仕組みづく り」の取組内容	「NPO、企業等民間と市役所 が協働して」	「 <b>教育機関や研究機関、市民、</b> NPO、企業 等民間、市役所が協働して」

※「修正後」欄では、「修正前」欄に示した文章のうち、実際に修正を行った部分を太字で表現しています。  
※ページについては、この冊子の該当ページをお示ししています。

